

いかにしてもう一度立ち上がるか - これからの百年を見据えて -

東日本大震災 国際神学シンポジウム 神戸

2014年3月11日を迎えると、あれから3年になります。確かに復興に向かっているとはいえ、依然として混迷を深めている厳しい現実を抱えています。2012年、13年とフルー神学大学院 (Fuller Theological Seminary) そしてホイートン大学人道的災害支援研究所 (Wheaton Humanitarian Disaster Institute) と共に持たれ、好評であった東日本大震災国際神学シンポジウムを、本年は東京と共に、1・17を経験した神戸でも開催します。

日米の神学者たち、牧師・伝道者たちが、100年先の日本の教会のあり方を見据えつつ、教会に仕え、現在なさなければならないこと、そして将来に取り組みなければならない働きについて、祈りつつ論じていきたいと願っています。教団教派を尊重しながら、この時代における教会の責任と使命を考え、日本宣教のビジョンを共に仰ぎみたいと願っています。そしてこの取り組みが、全日本、そして世界のキリスト教会への大きな貢献となることを希望しています。

Raising Leaders through Sufferings beyond Walls

苦難を通し、壁を越えて、次の世代へ

2014年 2月 13日(木) 14:00-17:00

場所：青谷福音ルーテル教会 (神戸市中央区中島通2-3-6)

< 「三宮」または「阪急六甲」から神戸市バス2系統で10分、青谷下車、西へ徒歩1分 >

参加費 1000円 (学生：500円)

通訳

藤原淳賀 (聖学院大学)

主題講演



■ **ホアン・マルティネス** Juan Martinez
(フルー神学大学院)

M.Div.(メノナイト・プレザレン聖書神学校)、Th.M., Ph.D.(フルー神学大学院)。フルー神学大学院教授。異文化国際プログラム学務担当副部長、ヒスパニックセンター部長。メノナイト・プレザレン教団按手牧師。教会開拓、グアテマラの聖書学校、神学校の校長を歴任。主たる研究領域は北米におけるラテン系プロテスタント研究。著書、共著：Los Protestantes Latino - Protestantism in the United States. Churches, Cultures & Leadership - A Practical Theology of Congregations and Ethnicities.

応答

津村春英
(大阪キリスト教短期大学)
小平牧生
(キリスト兄弟団西宮教会)

お問い合わせ 神戸ルーテル神学校 (office@koluthse.jp) 〒651-0052 神戸市中央区中島通2-3-5

主催：東日本大震災救援キリスト者連絡会(DRCnet)、東京基督教大学、聖学院大学総合研究所
共催：フルー神学校、ホイートン大学(人道的災害援助研究所)

協賛：神戸ルーテル神学校、関西聖書神学校、福音聖書神学校、青山学院大学宗教主任会、お茶の水クリスチャンセンター、クラッシュ・ジャパン、聖学院大学、東北HELP、日本キリスト教会神学校、日本基督教団、日本同盟基督教団、日本福音同盟(JEA)、日本バプテスト教会連合国分寺教会、日本バプテスト同盟、日本バプテスト連盟、バーパス・ドリブン・フェローシップ・ジャパン、日本福音主義神学会東部部会、リーベンゼラー日本宣教師団
後援：関西ミッション・リサーチセンター、日本福音主義神学会西部部会、青山学院大学総合研究所、いわきCERSネット、賀川豊彦記念松沢資料館、関東学院大学キリスト教と文化研究所、災害支援緊急援助隊アガベールCGN福島県支部、東京ミッション研究所、新生宣教師団、日本バプテスト協会連合、日本ローザンヌ委員会、福島県キリスト教連絡会、キリスト新聞、クリスチャン新聞 (昨年度の協賛・後援を含む)